

国立市シルバー人材センターニュース

第 137 号

いぶし銀



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター・編集：広報委員会
住所：国立市富士見台 2-38 ・TEL：042-577-0919 ・FAX 042-575-7288
E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp ・URL：http://www.kunitachi-sc.or.jp/



【募集】5月15日発行「いぶし銀」第138号の表紙写真を募集します。

写真・古民家の春

事故発生時の
夜間・休日緊急コールセンター

電話番号 04-2929-8282

- ・古民家の春…………… 1 頁
- ・社会奉仕活動の基本的理解、理事会協議案件…………… 2 頁
- ・会員の声、安全就業標語を推薦…………… 3 頁
- ・入・退会者状況、窓、新規会員募集…………… 4 頁

社会奉仕活動の
基本的理解 その⑥

「国立市シルバー人材センターの
社会奉仕活動への取り組み」

昨年3月に発行された私たちの人材センターの「第三次中期目標計画」の中で、社会奉仕活動について、当センターが高齢者の社会参加の推進と地域社会に貢献していくためには、社会奉仕活動を活発に展開していく必要がある。と強調している。そしてその取り組みとして、国立市に相応しい社会奉仕活動の実施と、参加者の拡充を目指している。

そして、この取り組みの実態評価として、昨年10月の第2回合同委員会の席で、「社会奉仕活動に対する会員の意識はまだ低く、参加人数も少なく、参加者は限られた会員が多い。今後、会員の意識改革をあらゆる場で進めたいかねばならない。」と発表されている。

この「いぶし銀」で、「社会奉仕活動の基本的理解」と題して、本年度6回にわたり連載させていただいたのは、先の会員の意識改革というよりも、社会奉仕活動への関心を深め

てもらいたいとの願いがあったからである。

そのためには、我が国のボランティア活動にもいろいろな問題のあることも認識していただきながら、これらの諸問題をさらに議論してもらいたいと思う。

社会奉仕に関わったことのある人は、この活動は、基本的には人生を心豊かにし、人生を楽しむことができるのを感じておられるだろう。もちろん、活動しているところにはいろいろな悩みも苦労も生じるだろう。しかし生活がかかっているわけではないので、そこにそれほど強い義務感を感じることもなく、先号で述べたように、もともと身近で日常的な活動として活性化していきたいものである。

そして、社会奉仕活動の内容には、多種多様なものがあるので、自分に向いているものとそうでないものがある。だから、もし活動が自己の限界を超えているものなら、無理に参加する必要はないと思う。

では最後に、ボランティア活動者募集の情報の一つについて記し

ておく。それは国立市社会福祉協議会内のボランティアセンターが偶数月に発行している通信紙「らびっと」で、市内32か所に置かれているので、関心がおありの方は、手に取られてご覧になることをお勧めする。 <完>

富士見台2班 山台 弘之

お詫びと訂正

前号(第136号)3ページ掲載の「社会奉仕活動の基本的理解その⑤」の文中、「選考」は「先行」の記載誤りでした。

謹んでお詫び申し上げます。

広報委員会

国立市の健康診断を
受診しましょう

健康診断は、生活習慣病をはじめとする病気を防ぐためにも欠かせません。受診した後で、生活習慣の改善が必要な方には保健士、栄養管理士などのスタッフからサポートを受けることができる保健指導の案内も届きます。

無料で受診できますので、ぜひ受診して健康づくりに活かしてください。

平成26年1・2月
理事会協議案件

【第10回理事会…1月17日(金)】

- ① 入会希望者・退会者の承認
— 男性6名・女性5名の入会を承認—
- ② 職員の給与の特例に関する規程を廃止する規程—承認—
- ③ 就業基準に関する要綱の一部改正—承認—

【第11回理事会…2月12日(水)】

- ① 地域班に関する要綱の一部改正—承認—
- ② 平成26年度事業計画案—継続—
- ③ 平成26年度収支予算案—継続—

年会費納入のお願い

平成26年度の年会費(二千元)の納入は、4月1日から受け付けます。

なお、退会を希望される方は、その旨を事務局までご連絡ください。

事務局 ☎ 577・0919

会員の声

あつという間の懇親会

泉1班 岩本 正光

立春も過ぎて寒さ遠ざかると思いきや、何百年ぶりの大雪に見舞われ、みんな来てくれるのかと心配しながらの開催となりました。

ここ新しい南区公会堂になって、3年目、5回目の会合です。

泉1班は、現在会員33名、毎年入れ替わりが2、3名ありますが、会員数は変わらずです。今回の出席は11名と少ないので、今回は会員の仕事や就業時間帯を見て、少しでも多くの方が参加できるように日程を組みたいと思います。

懇親会は、木原会長のあいさつで始まりました。

会計、副支部長と会員の三浦さんが協力。三浦さんの数々の手料理、鳥レバー、手羽先、すき焼き、白子汁のほか、テーブル狭しと賑わせました。しかも会費を有効に、安くできました。ほんとに頭が下がります。

3時間たっぷり歓談を楽しみ、親睦を深め、途中からはカラオケを楽しみ

懇親会を終了しました。

ありがとうございます。

また来年もやりましょう。それまで皆さんお元気で。



雪の中の参加お疲れさまです

お役にたちます

- 包丁は切れますか？
お任せください。
- スパッと切れます
包丁研ぎをしています。
- もしかして何か
お手伝いできるかも
- お問い合わせください。
お困りなことがありますか
お手伝いします。

安全就業標語を

推薦しました

センターニュース第135号で募集しました平成26年度「安全就業標語」にご応募いただきありがとうございます。

当センターでは次の作品を東京しごと財団に推薦いたしました。

〇 バランスは

重ねた年のバロメーター

富士見台2班 高野 泰子

〇 慌てるな

気持ちの余裕が事故防止

富士見台1班 北島 四郎

〇 ちよつと待て

はやる気持ちが事故招く

北2班 田島 安次

〇 注意する勇気と素直に聞く心

共働・共助で安全就業

北2班 田島 安次



パソコン教室会員募集

ワード初級クラス（4月5日から）

毎週土曜日10時～12時

ワード中級クラス（4月4日から）

毎週金曜日15時～17時

〇講習料 1か月 4千600円

※詳しくは事務局にお問い合わせください。

事務局 ☎ 577・0919

会員の声募集

会員の声にご投稿ください。

日々の感想、ひと言、また、地域班や職群班の活動内容など、何でも結構です。

随筆・旅行記などは600～700字程度、俳句・短歌・川柳などは3点まで。写真は1点で、データでお願いします。なお、いただいた原稿などは掲載記事の量によっては、次号以降の掲載になることもありますので、あらかじめご了承ください。

※ 5月15日号の締切日

※ 4月3日(木)

☎ 577・0919

